



学校だより

「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
- 「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子を育てます。
- 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
- 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
- 「関」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

令和4年10月31日
横浜市立菅田の丘小学校
校長 若山 京子
11月号
[霜月 November]

団結花笑み

校長 若山 京子



校庭の木々の葉が赤や黄に色づき、深まりゆく秋を感じます。先日、4年生の学習活動にご協力いただいている「けやき農園」さんの畑を訪れると、満開のコスモスが目を楽しませてくれました。また、6年2組が総合的な学習で関わらせていただいている「砂田川」に架かる合流橋のあたりでも、キバナコスモスが色鮮やかに咲き誇っています。菅田の町は、季節

を感じる事ができる自然がたくさんあることを、子ども達が学習を通して実感しているようです。子ども達には、この自然を町の人達が心を尽くして整え保っていることにも、気付いてほしいと思います。

今月中旬に行われた運動会では、子ども達は観に来てくださったたくさんの皆様の前で、練習の成果を精一杯発揮することができました。子ども達に惜しめない拍手の応援をいただき、心より感謝申し上げます。また、早朝より準備に力を貸してくださったPTO役員の皆様、後片付けに力を貸してくださった皆様、本当にありがとうございました。

運動会のスローガンは「団結花笑み 誰もが輝ける運動会にしよう」でした。今年度は学年ごとの演技や競技の他に「応援合戦」や「ペア学年競技」「高学年・低学年リレー」そして、「運動会係活動」に取り組みました。これまでコロナ禍において行わなかった取組ですが、感染予防策を十分に講じたうえで実施しました。

「応援合戦」や「ペア学年競技」、「高学年・低学年リレー」は異学年同士の交流を深めるねらいもあります。5・6年生で構成された応援団では、応援の掛け声や動き、隊形など子ども達で話し合い考えました。「応援合戦」での団長の力強い掛け声、団員の気合いの入った応援の姿は、子ども達の励みとなるだけでなく、下の学年の子にとって憧れにもなりました。「ペア学年競技」や「高学年・低学年リレー」では、上の学年の子が下の学年の子の様子を見たり作戦を考えたりしながら活動しました。その中で、上の学年の子は、自分のことだけでなく周りにいる子へ気を配ったり、全体をまとめようとしたりする気持ちが育ちます。下の学年の子は、上の学年の子から優しく声をかけられて、安心感をもち「自分も大きくなったら、こうなりたい」と「なりたい自分の姿」を思い描くことにつながります。実際に交流することで得られる力だといえます。

「運動会係活動」は、高学年の子ども達が当日の得点や放送などの係を担当しました。演技や競技の合間に責任感をもって仕事に勤しむ子ども達の姿は頼もしい限りでした。運営委員会の子ども達は運動会スローガンを考え、開閉会式を司会進行しました。各学年では運動会実行委員が中心となってダンスの動きを考えたり、練習をしたりするなど、子ども達が主体となって活動しました。子ども達は仲間と力を合わせて自分たちの運動会をつくり上げていきました。子ども達の活躍で、スローガンにある「団結花笑み」の運動会になりました。

心残りとしては、もっと多くの保護者、地域の方々に、子ども達の活躍をご覧いただきたかったです。来年こそは、世の中の状況がよくなることを願っています。

